



2011年4月8日

各位

会 社 名:株式会社三菱ケミカルホールディングス  
代表者名:取締役社長 小林 喜光  
(コード番号:4188)  
問合せ先:広報・IR室長 高阪 肇  
TEL. 03-6414-4870

「東北地方太平洋沖地震」による影響について（第4報）

2011年3月11日に発生しました東北地方太平洋沖地震で被災された方々に対し、心よりお見舞い申し上げます。

今回の地震の影響に関し、当社子会社である三菱化学株式会社（本社所在地：東京都港区、社長：小林 喜光）の関係事業所における現在の状況につき別添のとおりお知らせいたします。

なお、今後開示すべき重要な事実が発生した場合には改めてお知らせいたします。

以上

2011年4月8日

東北地方太平洋沖地震の影響について(4月8日時点)

三菱化学株式会社

東北地方太平洋沖地震で被災された皆様に対し、心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

頭書の件につきまして、当社関係事業所における現時点までの状況につき次の通りご連絡いたします。関係者の皆様にはご不便おかけいたしますが、ご理解の程よろしくお願いいたします。

【鹿島事業所】

現在までにボイラーを含む自家発電設備が一部復旧したことにより、地震発生後停止しているエチレン等の製造設備についての詳細点検を実施しており、必要に応じて補修をとり進めています。また、津波により被害を受けた港湾施設を含む入出荷設備も現在急ピッチで補修を進めております。

現時点までの点検・補修状況から、再開見込みのスケジュールについて以下の通りお知らせします。

鹿島第2エチレンプラントは、5月20日頃の再開をめざしています。また、ポリプロピレン、ポリエチレンの一部の系列については、第2エチレンプラントの稼動にあわせて再開の見込みです。

鹿島第1エチレンプラントは、今年度計画していた法定定期修理(5月14日～)終了後の6月27日に再開の予定です。ポリプロピレン、ポリエチレンの残りの系列及びビスフェノールA、酸化エチレン等のその他誘導品については、第1エチレンプラントの稼動にあわせて、順次再開の見込みです。

なお、上記再開見込みのスケジュールについては、現時点での見通しであり、変更となる可能性のあることをご了承ください。状況に変化がありましたらお知らせいたします。

【筑波事業所】

地震発生後、全製造設備を停止しておりましたが、安全を確認できた製造設備から稼動を再開させており、4月11日をもって、全ての製造設備の稼動を再開する予定です。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】  
三菱化学株式会社 広報室  
電話：03-6414-3730